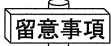
取扱説明書

日立パッケージエアコン

天井吊型室内ユニット

てんつり

HITACHI
Inspire the Next

このたびは日立パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、エアコンを正しくご使用ください。

お読みになった後は、大切に保管してください。
保証書は室外ユニットに付属しています。
わからないときは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

		室内ユニット単体型式	
冷暖房兼用型・冷房専用型共用	単相機（ヒーターレス）	RPC-AP□K3	型式をご記入の上、お客様にお渡しください。

次の室外ユニットと組み合わせてあります。	RAS-□	型式をご記入の上、お客様にお渡しください。

この取扱説明書は室内ユニット用です。
組み合わせられる室外ユニットに付属している取扱説明書も合わせてご覧ください。

もくじ

はじめに

●この製品は国内向け一般空調用です。
●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使わないでください。
●次のような場所への設置はしないでください。多くの場合エアコンが故障する原因になります。
・油(機械油も含む)の飛沫・蒸気の多い場所。
・火炎・油・水蒸気・粉などを直接吸い込む恐れがある場所、および調理する場所の真上。
・温泉地など硫化ガスの多い場所。
・可燃性ガスの発生・流入などの恐れがある場所。
・海岸地帯の塩分の多い場所。
・酸性またはアルカリ性の雰囲気の場所。
・腐敗物の保管所などガスが発生する恐れがある場所。
●電磁波を発生する医療機器などを使用するときは、エアコンの誤作動防止に注意してください。
電磁波の発信面を、室内ユニットの電気品箱・リモコンコード・多機能リモコンに直接向かわない位置に据え付けてください。
電磁波の空中伝播の影響をさけるため、電磁波を発信する機器やラジオなどは、エアコンより3m以上離してください。

記号の意味

⚠警告：取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定できる場合を示します。

⚠注意：取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定できる場合を示します。

留意事項：警告・注意以外の注記事項を示します。

メモ：知っていると便利な情報を示します。

：禁止事項を示します。

：強制事項を示します。特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示です。

：強制事項を示します。必ずアース線を接続するよう指示する表示です。

：参照ページを示します。

安全のため必ずお守りください

●ご使用の前に、この「安全のため必ずお守りください」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、「⚠警告」・「⚠注意」に区分していますが、誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「⚠警告」の欄にまとめて掲載しています。
しかし、「⚠注意」の欄に掲載した事でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。いずれも安全に関する重要な内容を掲載していますので必ずお守りください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

据付・電気工事について

⚠警告	
	●据え付けは、お買い上げの店または専門業者に依頼してください。 ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニット落下によるケガの原因になります。
	●小部屋に据え付ける場合は、冷媒が漏れても限界濃度を超えないように対策する必要があります。 万一冷媒が漏れて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。 詳しくはお買い上げの店にご相談ください。
	●電気工事をするには資格が必要ですので、資格のある店に依頼してください。 ご自分で電気工事をされ不備があると、感電および火災の原因になります。 万一アースが外れると感電の恐れがありますので、最寄りの電気工事店に連絡し、アースを取り付けてください。
	●漏電遮断器が取り付けられているか確認してください。 漏電遮断器が取り付けられていないと、感電および火災の原因になります。

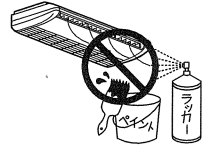
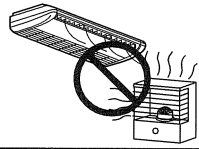
安全のため必ずお守りください（つづく）

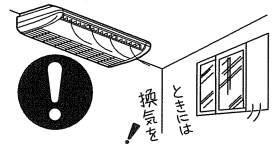
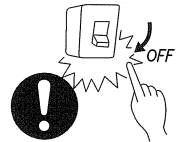
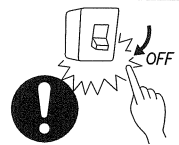
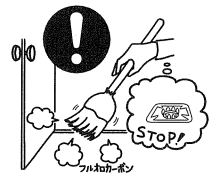
運転中に

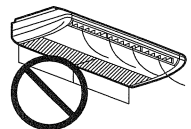
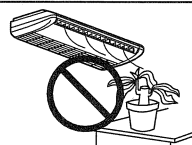
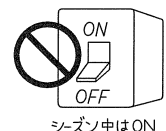
⚠警告

●空気の吹出口および吸込口に指や棒などを入れないでください。
内部で回転しているファンや電気品にあたり、ケガの原因になります。

●濡れた手でリモコンスイッチを操作しないでください。
感電の原因になります。

●エアコンを運転している部屋では引火物を使わないでください。
ラッカーやペイントなどの可燃性スプレーおよび油（機械油も含む）の蒸気は発火の原因になります。

●エアコンの風が直接あたる場所へ燃焼器具を置かないでください。
燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。

●長時間冷風を身体に当てたり、冷やしすぎないようにしてください。
体調悪化および健康障害の原因になります。

●燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になります。

●安全装置がたびたび作動したり運転スイッチの作動が確実でない場合は、ただちに元電源を切ってください。
漏電または過電流の可能性があるため、感電・火災・破裂の原因になります。
お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して、元電源をただちに切ってください。
異常のまま運転を続けると故障・感電・火災などの原因になります。
お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

●不燃性・非毒性・無臭性の安全冷媒（フルオロカーボン）を使用していますが、万一フルオロカーボンが漏れて火気に触れると有害ガスが発生する原因になります。また、フルオロカーボンは空気より比重が重いため、床面付近をおおい酸素欠乏の原因になります。
●万一フルオロカーボンが漏れたときには、ストーブなどの火気を消して床面を掃くようにして換気したうえで、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

●室内ユニットのサービスカバーやパネルを外したまま運転しないでください。
電気部品の通電部分に触れると感電の原因になります。

注意

●動植物に直接風があたる場所には設置しないでください。
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

●冷房（暖房）シーズン中は、室内ユニットの電源を切らないでください。
（オプションのドレンアップメカを取り付けている場合に限ります。）
電源を切るとドレン水を強制的に排出できなくなり、水受けから水があふれ天井面および床面を汚す原因になることがあります。

安全のため必ずお守りください（つづき）

修理・移設について

⚠警告

●エアコンを修理または移設するときは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。
修理や据え付けに不備があると、感電および火災の原因になります。

その他の警告および注意

⚠警告

●必ずエアコンの元電源を切ってから作業してください。感電および傷害の原因になります。

●お手入れのときなど、内部に水を入れないようにしてください。
電気品に水がかかると感電の原因になります。

●製品および電気配線の改造変更をしないでください。
重大事故の原因になります。

●お手入れの際は、足場はしっかりしたものを使用してください。
転倒および傷害の原因になります。

●お手入れの際は、室内ユニットに水やスプレー式の洗剤をかけないでください。
電気ショートによる感電および火災の原因になります。

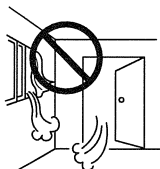
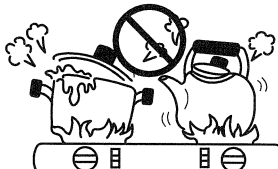
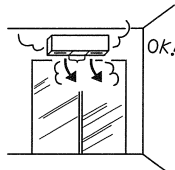
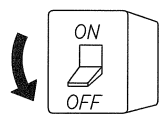
●お手入れの際は、電気部およびコネクターを必ず養生し、水が掛からないようにしてください。
電気ショートによる感電および火災の原因になります。

●エアコンの配管内には冷媒が封入されているため高圧になっています。資格者以外は配管接続部をゆるめたり、外したりしないでください。
資格者以外が作業をすると重大事故の原因になります。

⚠注意

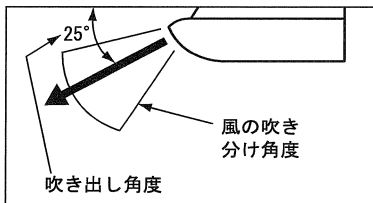
●空気吸込グリルの開閉やエアーフィルターの取り付け時・取り外し時は、手でしっかり保持してください。
落下および傷害の原因になることがあります。

上手にお使いいただくために

次の範囲でお使いください

条件 / 区分	室外ユニット吸込空気温度は	室内ユニット吸込空気温度は（室内温度ではありません）
冷房運転	−5℃以上43℃以下（乾球）	約21.5℃以上30℃以下（乾球）（相対湿度約80%以下）
暖房運転	約−10℃以上15.5℃以下（湿球）	17℃以上25℃以下（乾球）

注）1. 上記範囲外の場合は機械の保護装置が働いて、運転ができないことや、室内ユニットから露が落下することがあります。
2. 冷房専用室外ユニットと組み合わせて使用した場合は、暖房運転は行いません。

上手にお使いいただくために

効果的にお使いいただくには

窓および出入口は開けたままにしない	窓には、カーテンまたはブラインドを	冷房中は発熱器具をできるだけ使わない
運転効率が悪くなります。 室内ユニットの結露の原因になります。 （換気にも十分注意してください。）	直射日光をふせぎ、冷房効果が良くなります。 	冷房効果が弱くなります。 露付き・露落下の原因になります。

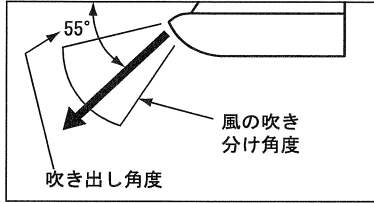
天井に熱い空気がこもる場合は、サーキュレーターのご使用を	長期間使用しないときは元電源を切る
快適性が向上します。詳しくはお買い上げの店にご相談ください。 	元電源を切らないと、エアコンを使用しない期間も待機電力分の料金を支払わなくてはなりません。

冷房・暖房を十分に行きわたらせるには

冷房

1.風向き

風の適正吹出角度は25°です。

設定の方法 ☞10ページ

冷えが良くないときは風向きを変えてみてください。

2.風量

通常は「強風」で使用します。
「急風」にすると、さらに風が広く行きわたります。

3.温度

おすすめ設定温度は27～29℃です。冷えが良くないときには低めに設定します。

暖房

1.風向き

風の適正吹出角度は55°です。

設定の方法 ☞10ページ

暖まりが良くないときは風向きを変えてみてください。

2.風量

通常は「強風」で使用します。
「急風」にすると、さらに風が下まで広く行きわたります。

3.温度

おすすめ設定温度は18～20℃です。暖まりが良くないときには高めに設定します。

メモ　**ビル用マルチの特性**について

室内ユニットの運転台数変化時や運転モード変化時に、**吹出空気温度が変化**し室内温度が変わる場合があります。このような場合は次のように設定してください。

- **冷房**のとき：温度設定値を少し下げてください。
- **暖房**のとき：温度設定値を少し上げてください。

各部のなまえと安全注意事項の表示

●お買い上げのエアコンにはお使いになる方が安全にお使いいただくため、エアコン本体に安全注意事項の表示をしています。
ご使用の際やお手入れの際は安全のため、注意事項を必ずお守りください。

安全注意事項	表示内容
回転物警告	⚠警告 ケガの恐れあり 指や棒を入れないでください。
経年劣化に係る安全上の表示	※本製品(パッケージエアコン)は、業務用エアコンです。下記の【設計上の標準使用期間】は、家庭用としてご使用された場合を想定して表示をしています。 ※【設計上の標準使用期間】 10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

室内ユニット

ご使用の前に

安全注意事項の表示個所	●上図中の □ に示す位置に貼り付けています。

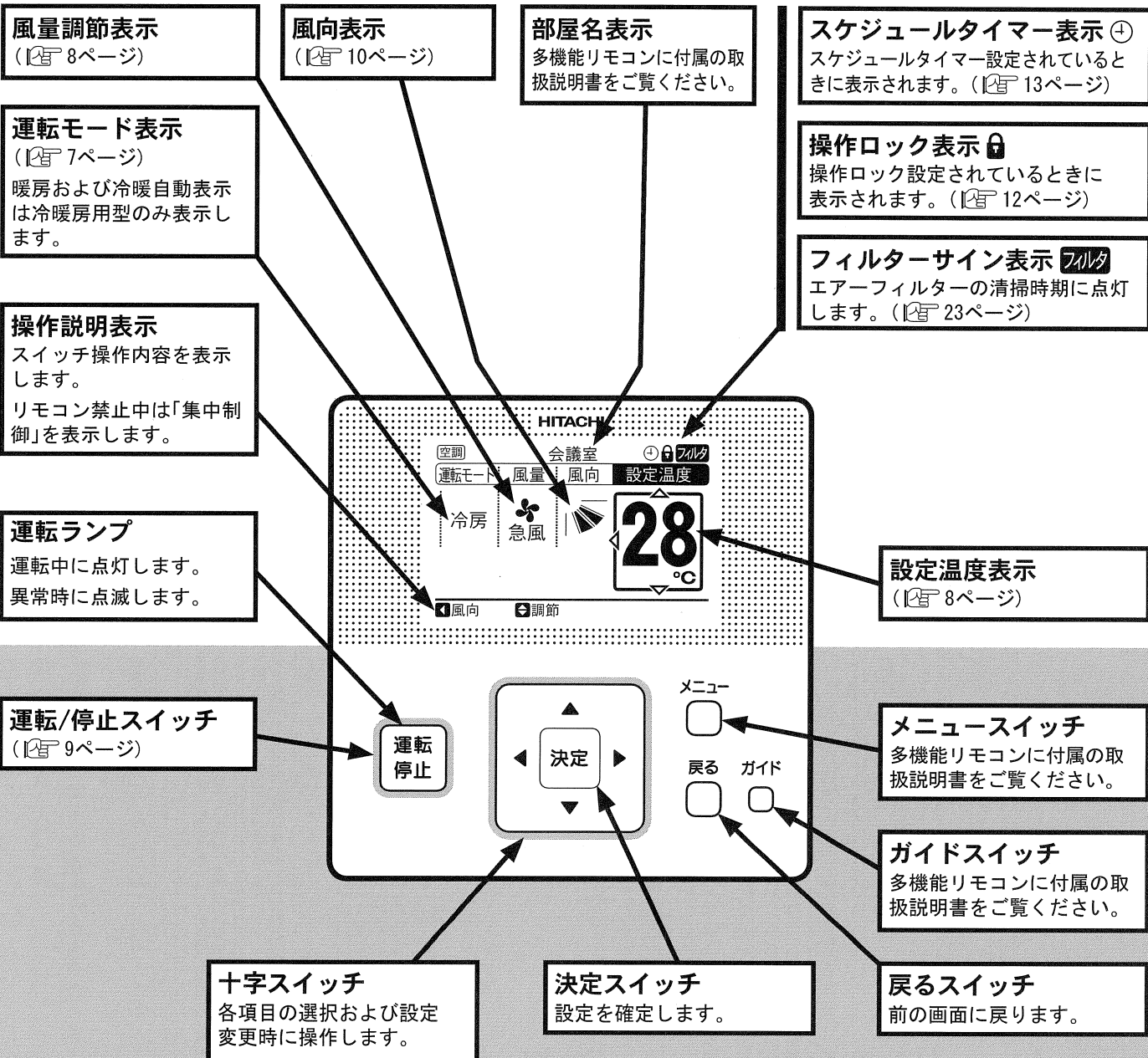
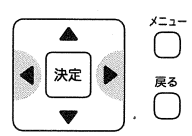
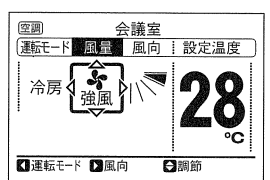
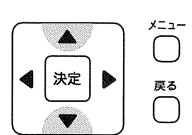
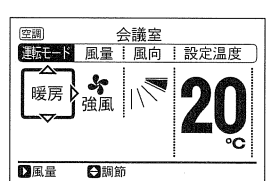
留意事項

●多機能リモコンの操作は**指で軽く押して**ください。

多機能リモコンのなまえ

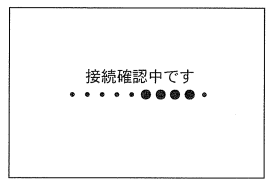
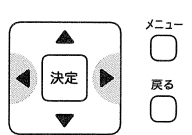
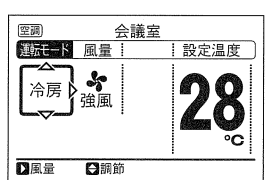
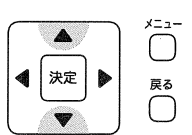
表示部

（下の表示は説明のため、画面は「運転操作画面」を表示しています。実際の運転時とは異なります。）

図はPC-ARF1・PC-ARFVの場合を示します。

留意事項

- 多機能リモコンの操作は**指で軽く押して**ください。
- 詳細は、多機能リモコンに付属の取扱説明書に従って操作してください。

基本の操作

PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

項目の選択	『◁』または『▷』**スイッチ**を押すごとに、◌の枠が 運転モード 風量 風向 設定温度 と移動します。		
設定の変更	項目を選択した状態で、『△』または『▽』**スイッチ**を押すと設定内容が切り換わります。		

運転のしかた

冷房・暖房・ドライ・冷暖自動・送風運転のしかた

PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

暖房運転は、[冷暖房兼用機]のみの機能です。[冷房専用機]は、暖房運転できません。

準備	**電源**を入れます。 圧縮機保護のため、運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。 シーズン中は電源を切らないでください。		
1	『◁』または『▷』**スイッチ**で 運転モード を選択します。		
2	『△』または『▽』**スイッチ**を押すごとに 冷房⇔暖房⇔ドライ⇔(冷暖自動)⇔送風 の順に切り換わります。		

●「冷暖自動」の使用については別途設定が必要です。詳しくはお買い上げの店にご相談ください。

温度設定のしかた

PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

1	『◁』または『▷』スイッチで 設定温度 を選択します。		
2	『△』スイッチを押すごとに1℃ずつ上がります。(最高30℃) 『▽』スイッチを押すごとに1℃ずつ下がります。 (冷房・ドライ・送風モード時……最低19℃ 暖房モード時……………………最低17℃)		

●最高温度および最低温度は、機能選択の設定温度冷房下限値（または暖房上限値）設定により変更することができます。

風量設定のしかた

PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

1	『◁』または『▷』スイッチで 風量 を選択します。		
2	『△』または『▽』スイッチを押すごとに 左図のように切り換わります。		

●ドライ運転時は自動的に「弱風」になり、風量の切り換えはできません(表示は設定状態のままです)。

運転のしかた

PC-ARF1・
PC-ARFV の場合

運転	[運転/停止] **スイッチ**を押します。 運転ランプが点灯します。 運転を開始します。		

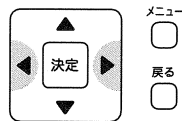
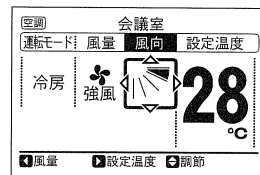
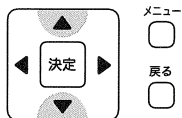
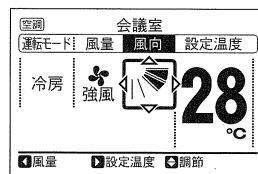
温度・風量の設定 ●一旦設定すると設定状態を記憶していますので日常の設定は不要です。設定を変更する場合は前ページの操作をしてください。

停止	もう一度 [運転/停止] **スイッチ**を押します。 運転ランプが消灯します。 運転を停止します。		

●暖房運転停止後、約 2 分間送風運転することがあります。

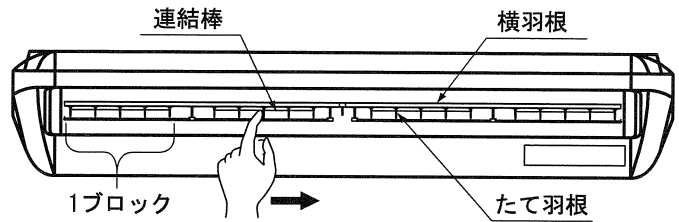
風向設定のしかた

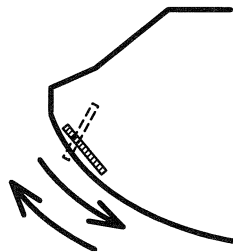
PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

1	運転/停止 スイッチを押して運転を開始した後、『◁』または『▷』スイッチで 風向 を選択します。		
2	『△』または『▽』スイッチを押すごとに吹き出し角度が切り換わります。 （冷房およびドライ運転のときは55°～65°の位置で押しても、自動的に45°の位置に固定されます。） でオートスイングを開始します。このとき、液晶表示はスイングを繰り返します。		

●液晶表示の羽根の位置と、エアコンの風向調節羽根の位置はオートスイング時に必ずしも一致しません。固定する場合は、液晶表示の位置を見て風向角度を設定してください。
●スイッチを押しても羽根がすぐ停止しないことがあります。
●方向調節羽根は、オートスイング時約45 ～ 50秒の周期でスイングを繰り返します。

風向調節のしかた

●左右方向の風向調節

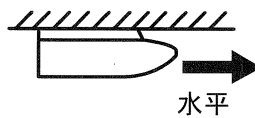
たて羽根は連結棒でつながれており、4ブロックに分かれています。連結棒を手で動かして希望の方向（左右）にセットしてください。
たて羽根を動かすときは、連結棒の端部を押すか、連結棒を持ってください。

●風向の自動セット（横羽根）について

●多機能リモコンで運転の「停止」操作をすると、自動的に羽根は閉じた状態で停止します。

●多機能リモコンで「運転」操作をすると、自動的に羽根は開き始めます。このとき、冷房・ドライ・送風運転の場合は、約20秒間風量が微風運転になり、その後、設定風量になります。
暖房運転時はホットスタート運転（☞22ページ）と同じ動作になります。

暖房運転時、自動的に風向を変えます

暖房運転は、［ 冷暖房兼用機 ］のみの機能です。［ 冷房専用機 ］は、暖房運転できません。

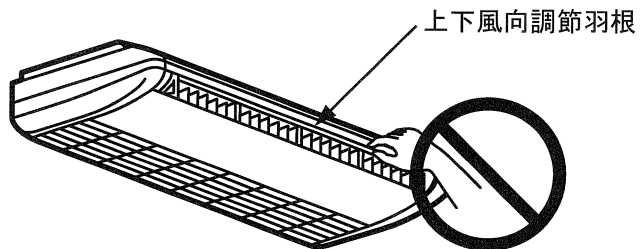
●**暖房**運転開始時
●**除霜**運転中
●**温度**調節器作動時

自動的に吹出角度を**水平**に**固定**します。

吹出温度が**30℃以上**に上がると自動的にお客様が設定された状態に戻ります。

液晶表示は、設定したままの状態で変化しません。

留意事項

●上下風向調節羽根は、絶対に手で動かさないでください。
内部で連結されたオートルーバー機構が破損し、風向設定ができない原因になることがあります。

運転のしかた

操作ロックのしかた

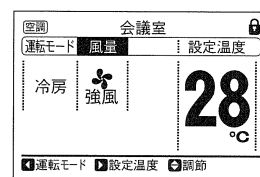
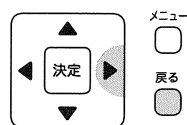
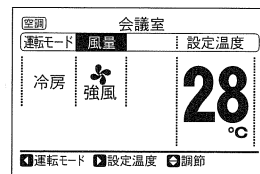
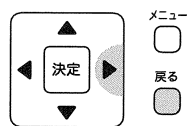
PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

運転と働き

●多機能リモコンの設定操作を無効にさせる機能です。

●以下の4種類の設定操作を無効にできます。

(1)「運転モード」
(2)「設定温度」
(3)「風量」
(4)「風向」

1	『▷』**スイッチ**と **戻る** **スイッチ**を同時に3秒押します。 🔒が点灯し、操作ロックが有効になります。 操作ロックで制限されている設定項目は、『◁』または『▷』**スイッチ**を操作しても選択できません。		
2	『▷』**スイッチ**と **戻る** **スイッチ**を同時に3秒押します。 🔒が消灯し、操作ロックが無効になります。		

●『▷』スイッチと 戻る スイッチを同時に3秒押すごとに、操作ロックの「有効⇔無効」が切り換わります。

●操作ロックで無効化する設定操作は、機能選択で選択することができます。詳しくはお買い上げの店にご相談ください。

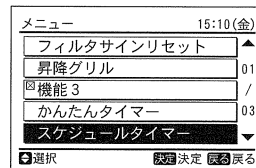
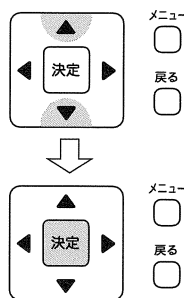
スケジュールタイマー設定のしかた

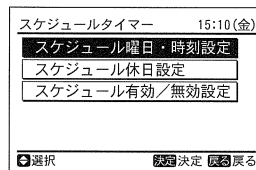
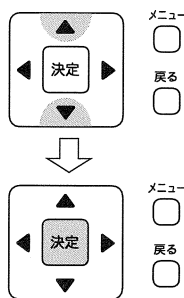
PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

機能と働き

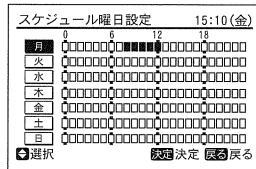
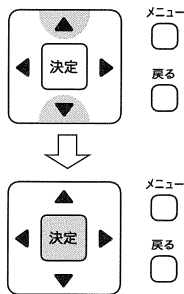
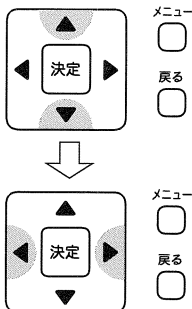
●ご希望の時刻に運転を始めたり､止めたりする機能です。
●運転時に温度を設定することもできます。
●スケジュールタイマー設定は各曜日1日5回まで設定することができます。

1

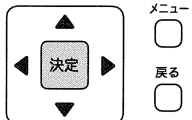
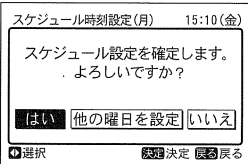
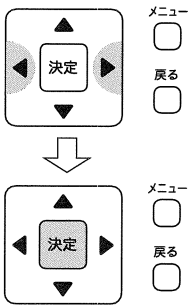
メニュー **スイッチ**を押します。
メニュー画面で スケジュールタイマー を選択して、決定 **スイッチ**を押します。
スケジュールタイマー設定を表示します。

2

『△』または『▽』**スイッチ**で スケジュール曜日・時刻設定 を選択して、決定 **スイッチ**を押します。
スケジュール曜日設定を表示します。

●現在時刻未設定時は、自動的に時計あわせ（☞19ページ）画面を表示します。

3

『△』または『▽』**スイッチ**で設定する曜日を選択して、決定 **スイッチ**を押します。
スケジュール時刻設定を表示します。
- 画面の■は運転、□は停止時間帯を示します。休日設定をしている場合は、□□を示します。
- 設定コピーするする場合は、曜日をを選択した状態で『◁』スイッチと決定スイッチを同時にを押します。
 1つ前の曜日の設定内容をコピーします。

運転のしかた

スケジュールタイマー設定のしかた

PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

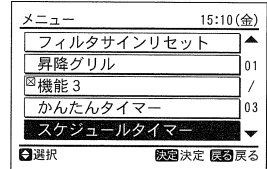
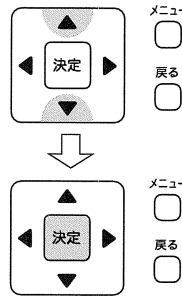
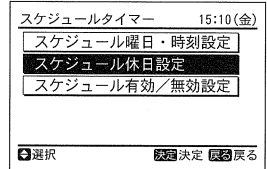
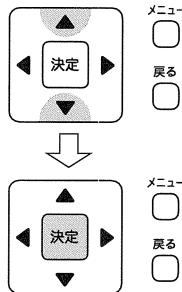
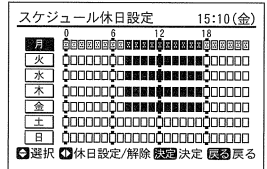
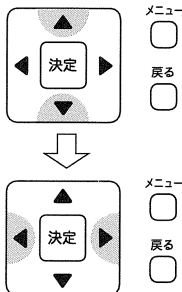
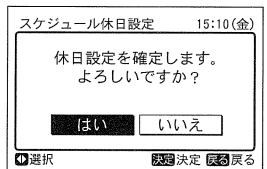
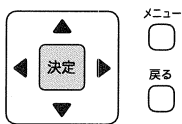
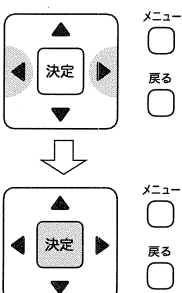
<table>
<tr><td>4</td><td>『△』または『▽』スイッチで
スケジュールNo.[1]〜[5]を、
『◁』または『▷』スイッチで
「入時刻」・「切時刻」・「設定温度」を選択します。
「入時刻」・「切時刻」・「設定温度」選択では、
『△』または『▽』スイッチで入切時刻または設定温度を設定します。
● 『△』または『▽』スイッチを押し続けると連続で増減します。
●設定は各曜日1日5回まで可能です。</td><td></td><td>
上図は、入時刻8:30、切時刻12:15、設定温度28℃を示します。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>[決定]スイッチを押します。
設定確認を表示します。</td><td></td><td>スケジュール時刻設定(月) 15:10(金)
スケジュール設定を確定します。
よろしいですか？
はい 他の曜日を設定 いいえ
選択 決定決定 戻る戻る</td></tr>
<tr><td>6</td><td>『◁』または『▷』スイッチで はい を選択して、[決定]スイッチを押すとスケジュール設定を確定して、運転操作画面(6ページ)に戻ります。
他の曜日を設定する場合は、他の曜日を設定を選択して[決定]スイッチを押します。</td><td></td><td>
スケジュール設定を示す⊕を表示します。</td></tr>
</table>

●リモコン禁止中はスケジュール運転停止をしません。
●⊗を表示している場合、スケジュール運転できません。19ページの「時計あわせのしかた」を参照して年月日時刻を設定してください。

スケジュール休日設定のしかた

PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

機能と働き

●スケジュール運転を一時的に稼動させない機能です。
●休日設定した曜日は、1日だけスケジュール運転をしません。その後、自動的に復旧します。
●祝日などの不規則な休みがある場合に使用します。

1
メニュー **スイッチ**を押します。
メニュー画面で **スケジュールタイマー** を選択して、決定 **スイッチ**を押します。
スケジュールタイマー設定を表示します。

2
『△』または『▽』**スイッチ**で **スケジュール休日設定** を選択して、
決定 **スイッチ**を押します。
スケジュール休日設定を表示します。

3
『△』または『▽』**スイッチ**で休日設定する曜日を、『◁』または『▷』**スイッチ**で休日設定⇔解除を選択します。
●休日設定した場合、運転停止時刻を示す □■ が ⊡⊡ のように表示します。

4
すべての曜日の休日設定が完了したら、決定 **スイッチ**を押します。
設定確認を表示します。

5
『◁』または『▷』**スイッチ**で **はい** を選択して、決定 **スイッチ**を押すと、スケジュール休日設定を確定して運転操作画面(6ページ)に戻ります。

●休日設定曜日はスケジュール設定を示す ⊕ 表示が消灯します。

運転のしかた

スケジュール休日設定のしかた

PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

■スケジュール有効／無効設定

機能と働き

●スケジュール運転を一時的に稼動させない機能です。
●スケジュール無効設定中はタイマー運転をしません。
●長期間の休みがある場合に使用します。

1

メニュー **スイッチ**を押します。
メニュー画面で **スケジュールタイマー** を選択して、決定 **スイッチ**を押します。
スケジュールタイマー設定を表示します。

2

『△』または『▽』**スイッチ**で **スケジュール有効／無効設定** を選択して、決定 **スイッチ**を押します。
スケジュール有効／無効設定確認を表示します。

●スケジュール有効のときは、スケジュール無効設定確認、スケジュール無効のときは、スケジュール有効設定確認を表示します。

3

『◁』または『▷』**スイッチ**で **はい** を選択して、決定 **スイッチ**を押すとスケジュール有効／無効設定を確定して、運転操作画面(6ページ)に戻ります。

●スケジュール有効設定時は⊕表示が点灯します。
●スケジュール無効設定時は⊕表示が消灯します。

●スケジュール無効設定時はスケジュール運転停止をしません。

空調・換気切換設定のしかた

PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

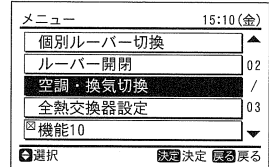
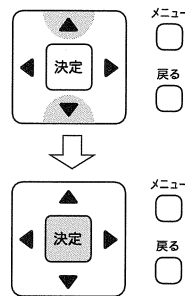
機能と働き

●**空調**……………… エアコンが単独で運転します。
●**換気**……………… 全熱交換器が単独で運転します。
●**空調＋換気** …… エアコンと全熱交換器が連動運転します。

留意事項

●本機能は、エアコンと全熱交換器を連動する場合に有効です。

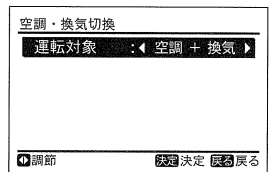
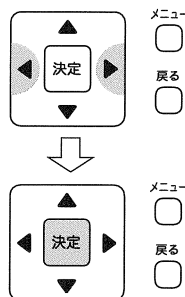
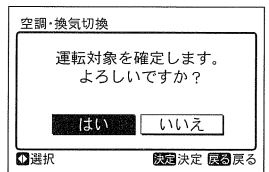
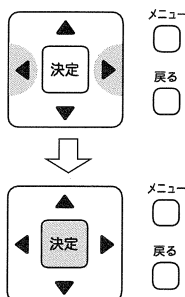
1

メニュー □ **スイッチ**を押します。
メニュー画面で 空調・換気切換 を選択して、
決定 **スイッチ**を押します。
空調・換気切換を表示します。

2

『◁』または『▷』**スイッチ**を押すごとに、空調 ⇔ 換気 ⇔ 空調＋換気 の順に表示します。

空調…………エアコンが単独で運転します。
換気…………全熱交換器が単独で運転します。
空調＋換気…エアコンと全熱交換器が連動運転します。

運転対象を選択して、決定 **スイッチ**を押します。設定確認を表示します。

3

『◁』または『▷』**スイッチ**で はい を選択して、決定 **スイッチ**を押すと運転対象を切り換え、運転操作画面(6ページ)に戻ります。

運転のしかた

全熱交換器設定のしかた

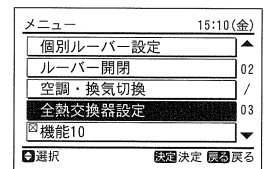
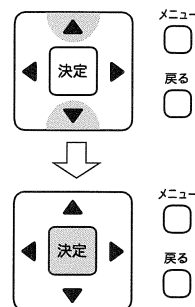
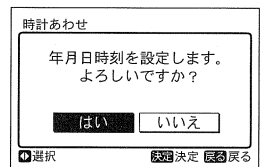
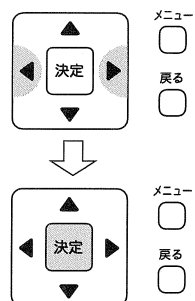
PC-ARF1・
PC-ARFV の場合

機能と働き

●全熱交換器の換気モードを切り換えます。

留意事項

●本機能は、全熱交換器を接続している場合に有効です。
●エアコン運転中は設定できません。

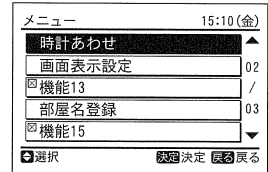
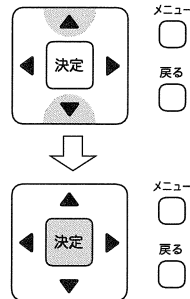
1	メニュー スイッチを押します。 メニュー画面で を選択して、 決定 スイッチを押します。 全熱交換器設定を表示します。		
2	『◁』または『▷』スイッチを押すごとに、自動換気 ⇔ 全熱換気 ⇔ 普通換気 の順に表示します。 換気モードを選択して 決定 スイッチを押します。 設定確認を表示します。		
3	『◁』または『▷』スイッチで はい を選択して、決定 スイッチを押すと設定を確定して、運転操作画面(6ページ)に戻ります。		

時計あわせのしかた

PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

機能と働き

- 年月日時刻を設定します。
- 時計の精度は月差約±70秒以内です。定期的に現在時刻を合わせることをお勧めします。
- 多機能リモコンは電池を内蔵しているため、停電しても約72時間は時計が動き続けます。
  72時間以上停電した場合、または長期間元電源を切っていた場合は、再設定してください。

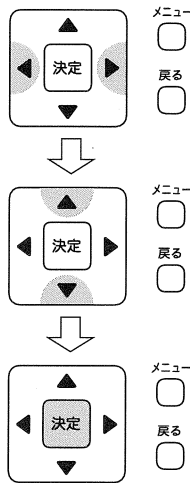
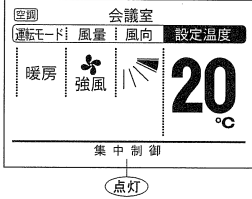
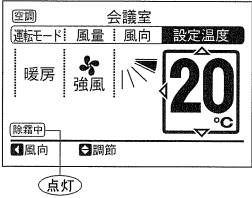
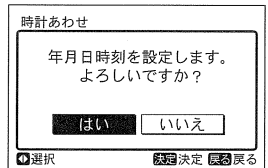
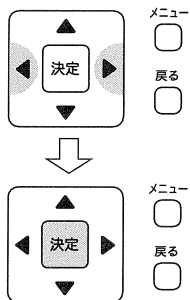
1

メニュー **スイッチ**を押します。
メニュー画面で 時計あわせ を選択して、
決定 **スイッチ**を押します。
時計あわせを表示します。

2

『◁』または『▷』**スイッチ**を押して、
「年」「月」「日」「時」「分」を選択します。
『△』または『▽』**スイッチ**を押して、
設定内容を変更します。

- 『△』または『▽』スイッチを押し続けると連続で増減します。

全設定後に 決定 **スイッチ**を押します。
設定確認を表示します。

3

『◁』または『▷』**スイッチ**で はい を選択して、決定 **スイッチ**を押すと設定を確定して、運転操作画面(6ページ)に戻ります。

その他の液晶表示について（つづく）

PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

通常時の表示

集　中 制御中	●「集 中 制 御」が点灯します。 集中コントローラーからリモコン禁止の設定をしている場合、多機能リモコンから運転・温度設定・風量設定・風向設定ができません。	
温　度 調節器	**温度調節器作動**のとき ●表示は変わりませんが、**弱風運転**になります。 （暖房運転時のみ）	
除　霜 （冷暖房兼用機のみ） （ビル用マルチ冷暖同時機を含む）	**除霜運転**のとき ●表示は変わりませんが、室内送風機は**停止**します。 風は**水平**に吹き出すように**固定**されます。 **除霜運転中に運転を停止**させたとき ●運転ランプは消えますが、運転は続行し、**除霜終了後に停止**します。	
運　転 制　御	**電源投入時** ● ホットスタート が**点灯**します。 圧縮機の予熱中です。最大で4時間運転できないことがありますので、冷暖房シーズン中は室外ユニットの電源を切らないでください。	
	ホットスタートのとき　（暖房運転時のみ） ● ホットスタート が**点灯**します。 停止中は消灯します。	
	多機能リモコンから設定した運転モードと室外ユニットの運転モードが異なるとき （室外ユニットが冷暖同時以外のとき） ●実運転モードが**点滅**します。	 室外ユニットの運転モードが「暖房」のときに、多機能リモコンから「冷房」設定した場合。

運転のしかた

その他の液晶表示について(つづき)

PC-ARF1・
PC-ARFVの場合

異常時の表示

異常	●運転ランプ(赤色)が点滅します。 ●液晶に室内ユニット番号・**アラームコード**・機種コード・据付台数が表示されます。 ●多機能リモコンが複数台の室内ユニットと接続されている場合は、機器切換をすることにより、室内ユニットごとに順次表示します。
停電	●全ての**表示が消え**ます。 ●停電などで運転が止まると、再び通電されても**再運転**しません。運転操作をやり直してください。 ●**約2秒**までの瞬時停電の場合は、自動的に**再運転**します。
ノイズ	●全ての**表示が消え**、運転も停止することがあります。これはノイズの影響で装置保護のためマイコンが作動したものです。運転操作をやり直してください。

自動運転について

自動で次の運転をします

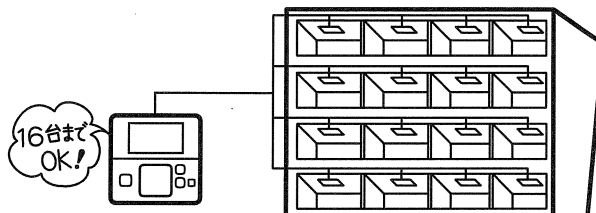
暖房運転は、[冷暖房兼用機] のみの機能です。[冷房専用機] は、暖房運転できません。

3分ガード		圧縮機運転停止後、圧縮機保護のために、最低3分間は圧縮機は再運転しません。約3分後には自動的に再運転します。
風向調節羽根の位置決め調整		風向調節羽根の位置決めをするために、運転開始時とオートスイング中に、水平位置で約30秒程度風向調節羽根を固定します。 約30秒後には自動的に動作を始めます。（多機能リモコンのオートルーバー用液晶表示は動作をしています。）
冷房運転時	凍結防止	室内ユニットの熱交換器の温度が異常に下がると自動的に圧縮機を止めて、送風運転をして熱交換器が凍結するのを防止します。
	膨張弁セルフクリーニング運転	冷房運転時、停止中の室内ユニットから時々冷媒の流れる音がします。 これは、膨張弁セルフクリーニング運転をしているためで故障ではありません。 なお、この運転はビル用マルチエアコンのみ実施します。
暖房運転時	ホットスタート	暖房運転開始時、除霜運転後および暖房時の吹き出し温度が低いときに冷たい風が出ないように、風量を自動的に「微風→弱風→設定風量」と徐々に変えます（最大約2分間送風機が停止することがあります）。 このとき、多機能リモコンに [ホットスタート] が表示され、吹出口の風向調節羽根は水平に固定されますが自動的に元に戻ります。
	除霜運転	除霜運転中は冷たい風が出ないように、室内送風機は停止します。 このとき、風向調整羽根は自動的に固定されますが、自動的に元に戻ります。
	余熱排除	暖房運転停止時、室内ユニット内部の温度を下げるために、最大約2分間微風運転をする場合があります。
	過負荷防止	暖房運転のとき、室内温度によって異なりますが、外気温度が高い（約21℃以上）場合は運転を止めます。

留意事項

- ●暖房方式は部屋全体を暖める温風循環方式のため、部屋が大きい場合や室内温度が極端に低い状態から運転を開始した場合には、部屋全体が温まるまでに時間がかかります。部屋全体が温まると [ホットスタート] の文字は消えます。
- ●除霜運転中および除霜運転直後に [ホットスタート] が表示される場合があります。冷風感を防止するため『ホットスタート制御』を作動させているためで、異常ではありません。

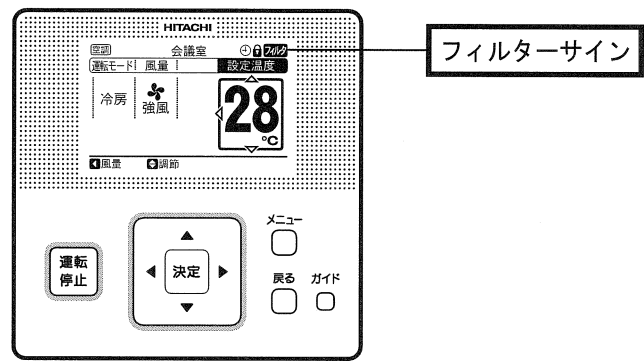
複数台同時運転について

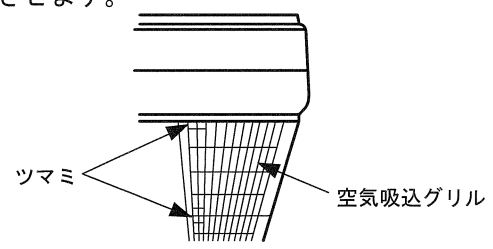
複数台のエアコン（最大16台、ただし、ツインは最大8セット、トリプルは最大5セット、フォーは最大4セット）を1つの多機能リモコンで同時に操作できます。
詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

お手入れのしかた

⚠警告	●必ずエアコンの元電源を切ってから作業してください。感電および傷害の原因になります。
	●お手入れの際、足場はしっかりしたものを使用してください。転倒および傷害の原因になります。
⚠注意	●空気吸込グリルの開閉やエアーフィルターの取り付け時・取り外し時は手でしっかり保持してください。落下および傷害の原因になることがあります。

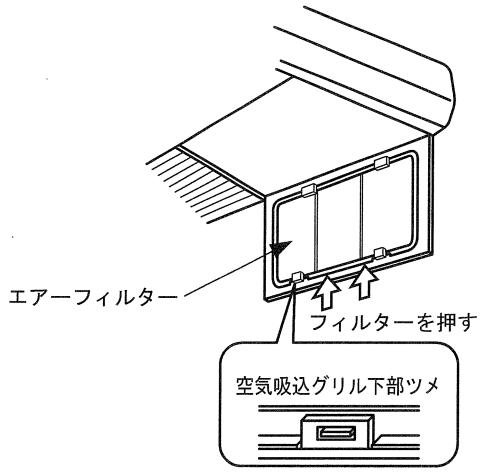
日常のお手入れ

エアーフィルターの掃除のしかた

フィルターサインが点灯したらエアーフィルターの掃除をしてください。

1 空気吸込グリルを開けます。

●空気吸込グリル両端のツマミを後方にスライドさせます。

●空気吸込グリルが下側へ開きます。

2 エアーフィルターを取り出します。

●エアーフィルターを上に押し上げ、エアーフィルターを弓状にたわませ、空気吸込グリル下部のツメから外して手前に引き出し取り外します。

3 掃除します。

●エアーフィルターの汚れは電気掃除機で取り除くか、水および中性洗剤で洗い流してください。

●エアーフィルターは日陰で自然乾燥させてください。

留意事項

●50℃以上のお湯は使用しないでください。熱により変形する恐れがあります。
●直火・ドライヤー・ヒーターなどで乾かさないでください。エアーフィルターの変形の原因になることがあります。

お手入れのしかた

4 エアーフィルターを取り付けます。

●エアーフィルターが乾いたら、必ず元どおり空気吸込グリルの収納部に正しく入れてください。

5 空気吸込グリルを閉めます。

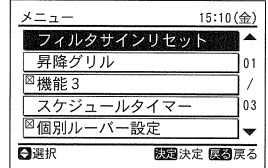
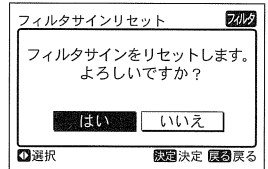
留意事項

●エアーフィルターを取り付けてください。
外したまま運転すると故障の原因になることがあります。

6 フィルターサインをリセットします。

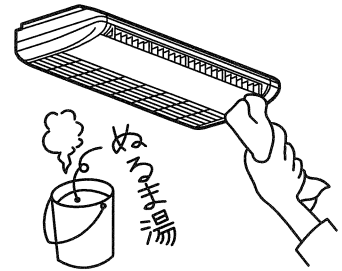
留意事項

●設定されている積算時間に達していない場合は⊠印が点灯し、「設定できません」が表示されます。

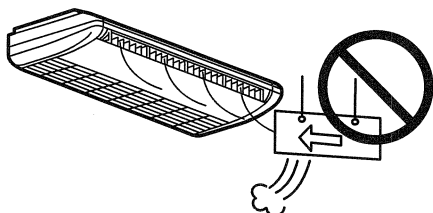
メニュー スイッチを押します。
メニュー画面で **フィルタサインリセット** を選択して、決定スイッチを押します。
フィルターサインリセット確認を表示します。

『◁』または『▷』スイッチで **はい** を選択して、決定スイッチを押します。
フィルタ の表示が消えて、運転操作画面に戻ります。

空気吸込グリル・空気吹出口・外板のお手入れ

ぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞って拭いてください

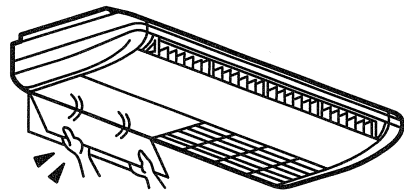
留意事項

●空気吸込グリル・空気吹出口・外板のお手入れには柔らかい布を使ってください。
ベンジン・シンナー・洗剤（界面活性剤入り）などを使うと樹脂部分が変色や変形する原因になることがあります。また、空気吹出口周辺の部品（風向調節羽根など）は、力を入れすぎると破損する恐れがありますので、特に注意してください。

シーズン始めと終わりのお手入れ

シーズン 始め

●室内ユニットと室外ユニットの空気吸込グリルおよび**空気吹出口の障害物**を取り除いてください。

●室内ユニットの**エアーフィルターがつまっていない**ことを確認してください。

シーズン 終わり

●エアーフィルター・空気吸込グリル・空気吹出口を掃除してください。

故障かなと思ったら

こんなときは故障ではありません

症　状		運転を再開するとき
運転が止まる	多機能リモコンの表示灯がすべて消えたとき。	電磁波などの影響で、装置保護のためにマイコンが作動したためです。運転操作を初めからやり直せば元に戻ります。
	停電があったとき。	運転操作を初めからやり直してください。 なお、約2秒までの瞬時停電は、自動的に再運転します。
白い霧状の水蒸気が出る	暖房運転のとき。	暖房運転時の除霜運転中にこのような現象が起こる場合があります。
白い煙が出る	暖房シーズン始めの運転開始のとき。	室内ユニットの熱交換器に付着していたゴミが乾燥するためです。
霧が出る	飲食店や厨房などで使用している場合。	油脂類がフィンに多量に付着すると熱交換が悪くなり、霧を発生させることがあります。
	ドライ運転のとき。	吹出温度が低くなったためです。運転パターンを変更してください。
	湿度の高い雰囲気での冷房運転のとき。	吹出温度が低くなったためです。設定温度を上げたり、風量を上げるなどしてください。
においが出る	運転中ユニットから吹き出す風がくさい。	タバコの煙や部屋のにおいなどが室内ユニット内部に付いたためです。 エアーフィルター・空気吹出口・空気吸込グリルのお手入れや、送風運転で換気を十分してからご使用になると効果がある場合があります。
音が出る	運転の始めや運転の終わりのときに「ミシッ」という音がする。	樹脂部品が温度の変化によって伸縮して、相手部品とこすれる音です。
	運転中に「シュー」という水の流れる音や「ボコボコ」という水が沸騰するような音がする。	冷媒が流れる音です。特に運転開始時や、圧縮機停止時(約3分間)に聞こえる場合があります。
	運転の始めや運転中に「ピキ」という音がする。	冷房運転時、室内ユニットの熱交換器に着いた水分が部分的に凍る、または溶ける際に発生する一時的な音です。
露がつく	空気吸込グリルやキャビネットに結露または露が落下する。	高湿度(相対湿度約80%)で長時間運転すると、結露する場合があります。
風向調節羽根が動かない	運転開始時やオートスイング中に、多機能リモコンのオートルーバー表示と風向調節羽根の動きが異なり、風向調節羽根が停止したままになる。	風向調節羽根の位置決め調節をしています。約30秒後に自動的に動き始めます。 (☞22ページ)
多機能リモコンに表示の ホットスタート が点灯する		運転モードおよび運転条件により、点灯または点滅することがあります。(☞20ページ)
多機能リモコンに表示の運転モードが点滅する		

故障かなと思ったら（つづく）

修理を依頼される前にお調べください

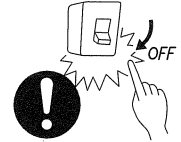
症　状		調べるところ	運転を再開するとき
運転しない		エアコンの元電源は入っていますか。	エアコンの元電源を入れてください。
		元電源のヒューズやブレーカーが切れていませんか。	ヒューズの交換またはブレーカーを入れてください。 再発する場合は、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口へご相談ください。
運転するがすぐ止まる	冷房時	室外ユニットの空気吸込口や空気吹出口が紙・ビニール・洗たく物などでふさがれていませんか。	空気吸込口や空気吹出口をふさいでいる物を取り除いてください。
	暖房時	室外ユニットの空気吸込口や空気吹出口の近くに風の妨げになるものがありませんか。	風の流れの妨げになっている物を取り除いてください。
		吹出空気がそのまま空気吸込口に吸い込まれていませんか。	
よく冷えない、よく暖まらない		運転モードは適正ですか。	送風運転になっている場合は冷房（暖房）運転モードに切り換えてください。
		設定温度は適正ですか。	設定温度 にて、『△』（冷房時）または『▽』（暖房時）スイッチを押してみてください。
		風の吹出方向は適正ですか。	吹出方向を変えてみてください。 暖房時、足元が暖まらない場合には、風向調節羽根を下向きにしてください。
		エアーフィルターが目づまりしていませんか。	エアーフィルターを掃除してください。
		部屋の窓や戸が開いていませんか。	窓や戸を閉めてください。
		室内ユニット・室外ユニットの空気吸込口や空気吹出口のまわりに障害物がありませんか。	障害物を取り除いてください。

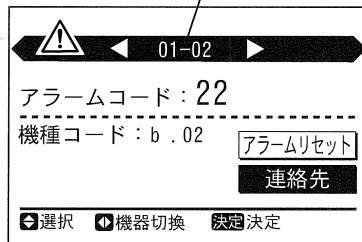
故障かなと思ったら(つづき)

次の場合はお買い上げの店へご連絡ください

●前ページの点をお調べいただいても調子が良くならないとき、また、前ページの点以外の症状があるときは使用を中止してお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

⚠警告

●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して、元電源をただちに切ってください。
異常のまま運転を続けると故障・感電・火災などの原因になります。
お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

症　　状	次の処置をしてから連絡を
ヒューズ・ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置がたびたび作動する、または運転スイッチの作動が不確実。	電源を切ってください。
エアコンから水が漏れる。	運転を停止してください。
●運転ランプ(赤色)が点滅します。 ●液晶に室内ユニット番号・**アラームコード**・機種コード・据付台数が表示されます。 ●多機能リモコンが複数台の室内ユニットと接続されている場合は、機器切換をすることにより、室内ユニットごとに順次表示します。 液晶の内容を確認して、お買い上げの店にご相談ください。	次ページの「アラームコード一覧表」を参照し、多機能リモコンの表示内容を連絡してください。

室内ユニット番号

お買い上げの店にご連絡のときお知らせください

1 **型式** 一型式の表示個所は(☞5ページ)

2 **故障の症状** 一できるだけ詳しく

3 **アラーム表示の番号** 一(☞21,28ページ)

故障かなと思ったら

アラームコード一覧表

アラームコード	アラーム内容	アラームコード	アラーム内容
01	室内保護装置作動	38	保護検出回路異常
02	室外保護装置作動	39	一定速圧縮機電流異常
03	伝送異常(室内一室外)	41	冷房過負荷
04	伝送異常(インバーター)	42	暖房過負荷
05	相検出異常	43	圧力比低下防止保護作動
06	室外電圧低下異常	44	低圧圧力上昇保護作動
07	吐出ガススーパーヒート低下異常	45	高圧圧力上昇保護作動
08	圧縮機上温度過昇	46	高圧圧力低下保護作動
09	室外送風機保護装置作動	47	低圧圧力低下保護作動
11	吸込空気温度サーミスター異常	48	過負荷運転保護作動
12	吹出空気温度サーミスター異常	51	インバーター電流センサー異常
13	室内熱交液管温度サーミスター異常	52	インバーター過電流保護作動
14	室内熱交ガス管温度サーミスター異常	53	トランジスターモジュール保護作動
19	室内送風機保護装置作動	54	インバーターフィン温度上昇保護作動
20	圧縮機上部温度サーミスター異常	56	室外ファンモーター位置検出異常
21	高圧圧力センサー異常	57	室外ファンモーターコントローラー保護作動
22	外気温度サーミスター異常	58	室外ファンモーターコントローラー異常
23	吐出ガス温度サーミスター異常	90	蓄熱ユニットアラーム
24	配管温度サーミスター異常	91	蓄熱フロートスイッチ異常
29	低圧圧力センサー異常	92	水位異常
31	室内外組み合わせ誤り	99	蓄熱リモコン伝送異常
32	他室内ユニット号機設定誤り	b1	アドレス・冷媒系統設定誤り
35	室内ユニット号機設定誤り	EE	圧縮機保護アラーム
36	室内ユニット組み合わせ誤り		

製品の種類と運転音

項目		RPC-AP36K3	RPC-AP40K3	RPC-AP45K3	RPC-AP50K3	RPC-AP56K3
種類	機能	冷暖房兼用型、冷房専用型				
	ユニット構成	分離式				
	凝縮器の冷却方式	空冷式				
	送風方式	直接吹出型				
電源	単相	200V 1φ 50/60Hz				
運転音 (dB)		H急 42 急 37 強 34 弱 32	H急 42 急 38 強 35 弱 33	H急 42 急 38 強 35 弱 33	H急 45 急 40 強 37 弱 34	H急 45 急 40 強 37 弱 34

項目		RPC-AP63K3	RPC-AP71K3	RPC-AP80K3	RPC-AP90K3	RPC-AP112K3
種類	機能	冷暖房兼用型、冷房専用型				
	ユニット構成	分離式				
	凝縮器の冷却方式	空冷式				
	送風方式	直接吹出型				
電源	単相	200V 1φ 50/60Hz				
運転音 (dB)		H急 45 急 40 強 37 弱 34	H急 45 急 40 強 37 弱 34	H急 45 急 40 強 37 弱 34	H急 45 急 42 強 39 弱 36	H急 45 急 42 強 39 弱 36

項目		RPC-AP140K3	RPC-AP160K3
種類	機能	冷暖房兼用型、冷房専用型	
	ユニット構成	分離式	
	凝縮器の冷却方式	空冷式	
	送風方式	直接吹出型	
電源	単相	200V 1φ 50/60Hz	
運転音 (dB)		H急 50 急 44 強 41 弱 38	H急 51 急 46 強 42 弱 39

留意事項

運転音は反響の少ない無響室などの部屋で、室内ユニットは製品正面1m・下方1mの測定位置における値(Aスケール)を表示します。実際の据え付け状態では、周囲の騒音や反響を受け、表示値より大きくなります。

製品の保安上の明細

本製品は法定冷凍能力5トン以上の製品と組み合わされる場合があるため、高圧ガス保安法に基づき冷媒ガスの圧力を受ける部分の材料や構造を遵守し、圧力試験が実施されています。

冷媒ガスの圧力を受ける部分の部品を交換または修理される場合(法定冷凍能力5トン以上)は、資格(冷凍機器製造事業所)のあるサービス工事店に依頼されるようお願いいたします。

	項目		単位	
熱交換器	型式		-	多通路クロスフィン式
	許容圧力	R410A	MPa	4.15
	台数		-	1(ユニット1台当たり)
	主要材料		-	C1220T-0(リン脱酸継目無銅管)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

※本製品(パッケージエアコン)は、業務用エアコンです。

良好な状態でお使いいただくため、お客様の行う日常点検(フィルター清掃など)に加え、専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。

下記の【設計上の標準使用期間とは】は、家庭用としてご使用された場合を想定して表示をしています。

【本体への表示】

※経年劣化による危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を、本体の銘板近傍に行っています。

〔製造年〕(本体の銘板(仕様銘板)の中に西暦４桁で表示してあります。)

※【設計上の標準使用期間】　１０年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、
経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

【設計上の標準使用期間とは】

※運転時間や温湿度など、下表の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件…(社)日本冷凍空調工業会の自主基準(家庭用エアコン)による

環境条件	電源電圧		定格表示電圧による
	周波数		定格表示周波数による
	冷房	室内温度	27℃ (乾球温度)
		室内湿度	47% (湿球温度:19℃)
		室外温度	35℃ (乾球温度)
		室外湿度	40% (湿球温度:24℃)
	暖房	室内温度	20℃ (乾球温度)
		室内湿度	59% (湿球温度:15℃)
		室外温度	7℃ (乾球温度)
		室外湿度	87% (湿球温度:6℃)
	設置条件		機器の据付点検要領書による標準設置
負荷条件	住宅		木造平屋, 南向き和室, 居間
	部屋の広さ		機器能力に見合った広さの部屋(畳数)
想定時間	1年当たりの使用日数		東京モデル 冷房：6月2日から9月21日までの112日間 暖房：10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間		冷房：9時間／日 暖房：7時間／日
	1年間の使用時間		冷房：1,008時間／年 暖房：1,183時間／年

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・ケガなどの事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービスについて（つづき）

保証について

保証書は、組み合わせられる室外ユニットに付属しています。

- 保証書はお買い上げの店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
- 保証期間中はお買い上げの日から1年間です。
  保証期間中万一故障したときは、保証書記載事項に基づいて1年間は無償修理いたします。
  お買い上げの店にご連絡ください。
  なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理は有料になります。
  なお、エアコンの故障に起因した営業補償などの2次補償はいたしません。
- 補修用性能部品の保有期間について
  このエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
  当社は、補修用性能部品を調達したうえ、修理によって機能を維持できるときは、お客様のご要望により有償修理いたします。

アフターサービスご契約のおすすめ

- 当社指定のサービス店と保守契約（有料）いただければ、日立パッケージエアコン専門のサービスマンがお客様に代わって点検をします。
  万一の故障のときも早期に発見し、適切に処置をすることができます。
- 使用される環境下により残存するドレン水が変質し、ドレンパン出口やドレンポンプの詰まりが発生することが稀にあります。
  また、ドレン水の変質により製品内部に錆びやカビなどが発生し、異臭などの原因にもなりますので定期的な清掃をお願いいたします。

移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。
- エアコンを長年お使いになったあと廃棄されるときは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

お客様メモ

後日のために記入してお客様にお渡しください。お客様がサービスを依頼されるときに、お役にたちます。

お買い上げ店名

電話　（　　　）　ー

お買い上げ年月日　　　年　　月　　日

製造販売元：日立アプライアンス株式会社　空調事業部

〒105-0022　東京都港区海岸一丁目16番1号（ニューピア竹芝サウスタワー）

P5414809　2011年3月　Printed in Japan(SS)